

8/24(土)



ギャラリートークA

『建築写真の表現』(特別展連動企画)

実在する建築を被写体に、そのデザインや空間の魅力を写真としてとらえる建築写真家と、未だ見ぬ建築を魅力的に描く建築レンダラー。表現者として建築と対峙する両者の違いと共通点に迫る。

登壇者:

建築写真家: 小川泰祐氏(日本建築写真家協会 会長)

建築レンダラー・司会: 山崎信宏氏(大成建設株式会社設計本部)

参加費: 無料

場 所: 建築会館ギャラリー

13:00~14:45 15:30~19:00 **VR体験コーナー** 空間は「見る」から「体験する」時代に
・フィリップ・ジョンソンの『THE GLASS HOUSE』(VICC)
・史跡の予想復元CGをVRで体験(ワイクウーデザイン)

ギャラリートークA

14:45~15:30 『建築写真の表現』(特別展連動企画)

16:00~17:30 **オープニングパーティ** 参加費: 無料(申込無しのご来場可)

※ギャラリーにて軽いお飲物をご用意しておりますので、ご自由にご参加ください。

18:00~

二次会 ※別会場にて。実費ご負担願います。

※特別展は、『日本建築写真家協会写真展「光と空間」建築の美 Part 13』より貸与いただいた11作品とJARA会員の作品による協同展示です。協力: 日本建築写真家協会

8/28(水)



ギャラリートークB

『空間体感の表現』~「見る」から「感じる」へ~

現実世界と仮想世界を融合させて「多様な新しい体験」を提供するxR。それらの表現を可能にする最新テクノロジーが、建築の表現にもたらすものは何か。空間の視覚化の拡張は、表現の進化となるのか。“体感の表現”を通して空間ビジュアライズの本質に迫る。

登壇者:

VRプラットフォーム運営: 山口征浩氏(Psychic VR Lab 代表)

建築レンダラー・司会: 山崎信宏氏(大成建設株式会社設計本部)

参加費: 無料(事前申込制: 先着40名)

場 所: 建築会館ギャラリー

17:00~18:30

VR体験コーナー 空間は「見る」から「体験する」時代に
・建築と空間アートをVRで複数人同時体験!(Psychic VR Lab)
・フィリップ・ジョンソンの『THE GLASS HOUSE』(VICC)
・史跡の予想復元CGをVRで体験(ワイクウーデザイン)

ギャラリートークB

19:00~20:15 『空間体感の表現』~「見る」から「感じる」へ~

20:30~

懇親会 ※別会場にて。実費ご負担願います。

※「STYLY」は、Psychic VR Lab が提供する VR クリエイティブプラットフォーム(ブラウザだけで VR 空間を構築し、配信を行うことができるクラウドサービス)です。

申込



★申し込みはメールにて必要事項を送信願います。(※必須)

宛先: jimu-2@jara-net.com(東京展イベント受信担当)

メールタイトル: 【東京展イベント】申し込み

*氏名

*メールアドレス

*社会人(会社名) or 学生(学校名)

*年齢

*参加希望のものに○をつけてください。

□8/24(土) 東京展ギャラリートークA (無料・申込無しのご来場可)

□8/24(土) 東京展オープニングパーティ (無料・申込無しのご来場可)

□8/24(土) 東京展二次会(有料)

□8/28(水) 東京展ギャラリートークB(無料)

□8/28(水) 東京展懇親会(有料)